

**令和6年度 沼津市夜間乗合タクシー実証運行
結果資料**

令和6年度 沼津市夜間乗合タクシー実証運行 実施結果

1 実証運行の概要

(1) 実証運行について

- ・近年の深刻な運転手不足や2024年からの運転手の時間外労働の上限規則により、路線バス事業を継続するために路線の廃止や減便のほか、最終バスの繰上げを余儀無くされており、コロナ禍前と比較しサービス水準が低下している状況となっている。
- ・夜間乗合タクシーの実証運行は、利便性向上に係る施策のうち運行時間帯の拡大に資する取り組みとし、最終バス運行後の帰宅利用を目的として実施する。

(2) 実証運行期間

2024年11月22日（金）～2025年1月31日（金）

※2024年12月29日（日）～2025年1月3日（金）は運休

(3) 運行日

上記期間内の週末（金・土・日・祝日）運行

(4) 運行形態

- ・定時定路線運行
- ・利用者同士のあい乗りによる運行

(5) 運行時間帯、運行便数

- ・21時台～23時台の3時間程度
- ・1日6便（1時間に2便）

(6) 運行車両

- ・セダンタクシー、ジャパンタクシー
- ・運行車両には、「沼津市夜間乗合タクシー」がわかるように、マグネットを取り付ける。



(7) 運行ルート

- 既存バス路線に順じたルートを運行（我入道ルート、下香貫ルート、高尾台ルート）



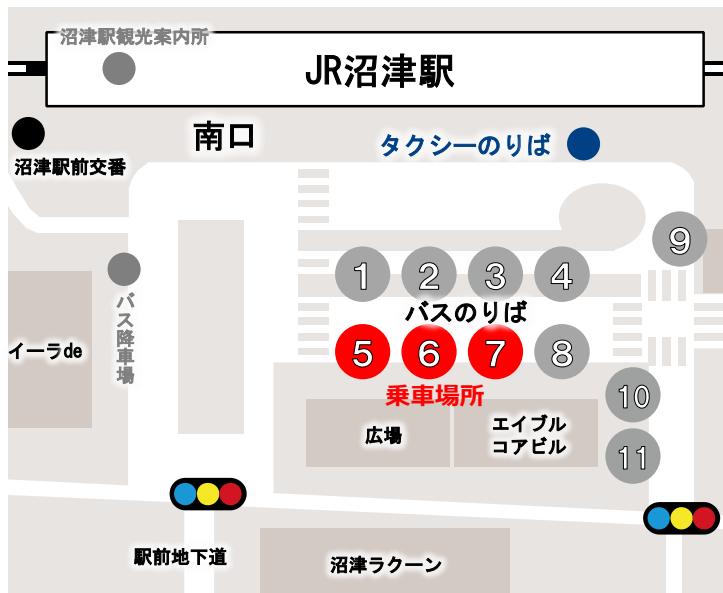
(8) 運行ダイヤ

- ・1日6便として、運行ダイヤを以下のとおり設定。

出発時刻		
21時	00分	30分
22時	00分	30分
23時	00分	30分

(9) 乗車場所

- ・沼津駅南口のバス乗り場（⑤～⑦）を乗車場所とする。
※沼津駅南口以外からの乗車は不可。
- ・⑤我入道ルート、⑥下香貫ルート、⑦高尾台ルートと設定。



(10) 降車場所

- ・既存バス停を降車場所とする。
※既存バス停以外での降車は不可。

2 運用方法

(1) 利用対象者

- ・どなたでも利用可能。

(2) 運賃

- ・1乗車定額（一人あたり）700円 ※現金のみ
- ・未就学児は無料（保護者同伴）

(3) 利用方法

利用方法は以下のとおり。

①沼津駅南口のバス乗り場（⑤～⑦）に各運行ダイヤの時間までに集まつていただく。

②乗車前に乗務員に降車地を伝え、運賃を支払う。

※降車地は指定されたバス停留所より選択。

3 利用状況

- ・全体では男性が60人、女性が30人の利用と2：1の利用となっており、我入道ルートはやや女性の利用が多かった。
- ・下香貫ルート、高尾台ルートは、各時間帯において一定数の利用が見受けられ、22時以降の利用者が多い。
- ・利用があった便については、利用者が1便あたり1.2人（我入道ルート1.0人、下香貫ルート1.3人、高尾台ルート1.2人）となっており、どの時間帯においても概ね1人程度の利用となっている。

	我入道ルート			下香貫ルート			高尾台ルート			合計		
	運行本数	利用者数	1便あたりの利用者数	運行本数	利用者数	1便あたりの利用者数	運行本数	利用者数	1便あたりの利用者数	運行本数	利用者数	1便あたりの利用者数
21:00	24	3	0.1	30	8	0.3	30	2	0.1	84	13	0.2
21:30	24	0	0.0	30	5	0.2	30	3	0.1	84	8	0.1
22:00	24	3	0.1	30	7	0.2	30	8	0.3	84	18	0.2
22:30	24	3	0.1	30	9	0.3	30	7	0.2	84	19	0.2
23:00	24	0	0.0	30	9	0.3	30	3	0.1	84	12	0.1
23:30	24	2	0.1	30	12	0.4	30	6	0.2	84	20	0.2
合計	144	11	0.1	180	50	0.3	180	29	0.2	504	90	0.2

4 利用者アンケート回答結果

項目	アンケート結果	考察
利用回数	どのルートにおいても「今回が初めて」の回答が最も多く9割程度を占めるが、複数回利用した方もいる。	継続して実施することで公共交通として定着し、普段から利用する方もあるのではないか。
外出意欲の変化	「外出意欲が高まった」の回答が多く、6割以上を占めている。	夜遅くまで公共交通サービスが提供されていることがまちの賑わいに寄与する可能性があるのではないか。
利用運賃	「丁度良い」「今より高くても利用する」の回答が多く、8割以上を占めている。	バスより運賃が高くても利用したいという意見もあり、需要があることがわかる。
乗車時間	「丁度良い」「今より長くても利用する」の回答が最も多く、9割以上を占めている。	乗合のため、多少時間がかかる構わないという方が多い。より遠くまで運行してほしい方もいる。

乗用利用について	「抵抗はない」の回答が最も多く、8割程度を占めている。	性別を問わず乗用だとしても需要はある。抵抗がある方は通常のタクシーを利用しているのではないか。
----------	-----------------------------	---

5 今後の夜間乗り合いタクシーの実施方針について

- ・沼津市の公共交通軸の拡大に向け、日中のバス路線ダイヤの平準化と併せて検討する。
- ・平準化に伴い路線バスの便数が減ってしまったとしても、その分に要していた予算で夜間乗用タクシーを運行することで、沼津市としての交通利便性を高める。
- ・夜間時間帯における一定の需要が確認できたことから、本格運行をする際の内容や財源の確保等について検討していく。

6 次回実証運行を実施する場合の見直しについて

(1) 運行内容及び利用料金について

- ・今回は利用の有無に関わらず駅前のバス停で発車の準備をしていたが、半デマンド式のような形式として、需要がある時のみタクシープールの車両が来るような形での運行も検討する。
- ・現在の運行ルートを帶状に広く運行（例えば我入道ルートと下香貫ルートの両方をカバー）することができれば効率的な運行も可能ではないか。
- ・電車に乗って帰ってきた方（バスで通勤・通学、塾へ行った方など）に使ってもらえるように、あくまで終バスの延長であるということで、バス定期券を持っている方に対する割引なども考える。

(2) 事業周知方法について

- ・バスの延長線である移動方法として位置付けるため、路線バスの時刻表に追記するなど、普段からバスを利用している人に対して効果的にPRする必要がある。
- ・今回の乗車場所はバス停を利用したが、駅を出てすぐの場所にするなど、目立つ場所にする。